



# 図書館だより



第1号 令和5年4月11日

発行：図書館

いたはし  
板橋

1年生のみなさん、ご入学おめでとうございます！

これから始まる中学校生活が、みなさんにとって楽しく充実したものになるよう、図書館から応援しています。

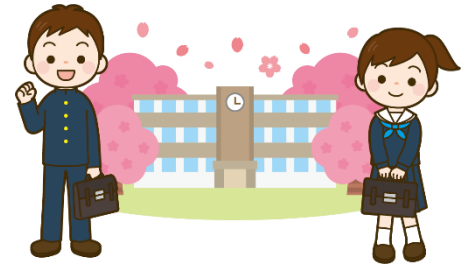
進級された2年生、3年生のみなさん、今年度もたくさんの本を読んで、学校生活のエネルギーにしていってくださいね。

図書館では、今年度もGKO（元気・けじめ・思いやり）の特にO（思いやり）を大切に活動したいと思いますので、よろしくお願いします。

（学校司書 板橋 彰子）



**G 元気！**  
**K けじめ！**  
**O 思いやり** ♥



～ 新学年スタートにあたり、メッセージをいただきました。～

福原校長先生（吉中図書館 館長）より

侍 ジャパン監督の読書術



みなさんの中には、本をよく読む人もそうでない人もいますが、読書家としても知られる、先月開催されたWBCで日本代表チームを率いた栗山英樹監督の読書術を紹介したいと思います。

昔から読書好きだったという栗山さんは、少年時代にベーブ・ルースや王貞治さんの伝記を読んで、「2人の生きざまが自身の原点、その後の道しるべになった。今を生きる子どもたちにも、人生を変える本に出会ってほしい。」と言っておられます。

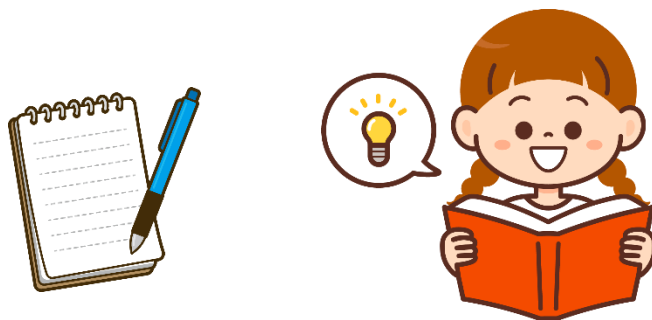
今でもありとあらゆる幅広いジャンルの本を読まれるそうですが、もちろん中には一度では読み進めない難しい内容の本も出てきます。そんな時に登場するのが「栗山ノート（読書ノート）」です。

裏面もあります

- ① 読書中に気になった箇所<sup>かしよ</sup>に線を引き、ノートにメモする。
- ② 途中までわかった部分<sup>せいり</sup>だけを整理する。
- ③ わからない部分は時間を置いてから<sup>お</sup>再び取りかかる。
- ④ そうすれば不思議<sup>ふしぎ</sup>と「すーっと頭に入る」ことがある。

とにかく「読みっぱなしだと頭<sup>のこ</sup>に残らない、書くという作業をしないと使えない」らしいです。手間<sup>てま</sup>と時間をかけながらも、とことん理解<sup>りかい</sup>し自分の糧<sup>かて</sup>にするのが栗山スタイルの読書術ですね。

このようにノートをそばに置いて読書するのは難しいかもしれませんが、それはさておき、みなさんがこれからいろいろな本を読んで、栗山さんのように人生を変える一冊に出会えたらいいなと思っています。NO BOOK NO LIFE



## 《 崎山先生（図書館担当の先生）より 》

偶然<sup>ぐうぜん</sup>手に取った本があなたにとってかけがえのない一冊になる。そんなことがあると素敵<sup>すてき</sup>だなと思います。私自身よく本を読むのですが、きっかけは、たまたま書店で見つかり、人が読んでいるのを見たりといつも偶然です。そうして出会った本たちに笑わされたり、がっかりさせられたりします。中には何度も読み返したくなるほど、心が震<sup>ふる</sup>える本に出会うこともあります。そんな出会いがみなさんにも訪れるよう、たくさん本を読んでほしいと思っています。おすすめの本もたくさんあるので、ぜひ図書館<sup>おとす</sup>を訪れてください。

